

研究者と巡るセメント美術

美術史研究者 坂口英伸

No.3 男女職工

今回はほぼ完全な形で現存するセメント彫刻として日本最古となる作品を取り上げよう。それが《男女職工》だ（図1）。この男女の神像は、1920（大正9）年に竣工した日本工業倶楽部会館の正面玄関の屋上に設置された建築装飾で、それぞれ建設当時の重要産業を擬人化したもので、「倶楽部の本質」を体現しているという。男性像は石炭を象徴し、右手にハンマーを持つ。女性像は紡績を象徴し、左手に糸巻きを持つ。両者の間に存在するのはファーンネス（聖火台）だ。神像は男女ともに高さ約2,875mm。

作者の小倉右一郎（1881-1962）は香川県出身の彫刻家で、おもに大正から昭和にかけて活躍した。小倉は「美術素材の魔術師」ともいうべき才能の持ち主で、金属・石材・木材は言うに及ばず、セメント・陶磁器・紙パルプなどの多種多様な素材で作品を制作する旺盛な制作意欲を見せた。小倉はいち早く美術素材としてのセメントに着目し、《男女職工》に挑戦したのだと筆者は推測している。関東大震災後の鉄筋コンクリートブームを契機として、美術界でも美術素材としてのセメントの応用が促進されたが、《男女職工》が関東大震災前に制作されたというその事実はとくに注目に値する。

東京美術学校（東京芸術大学の前身）で小倉と同窓だった彫刻家の朝倉文夫は、美術雑誌にて「小倉君は頭のいい人である。だから同君の製作を見ると製作がコンクリートの、どンドンコンクリートをかためるやうにやつて居る。換言すると吹けば飛びそうな感じがしない。確かに大作彫刻家の素質のある人だと思ふ」と小倉を称賛している。小倉の制作活動をコンクリートの質感を比喻表現に用いて評する点がユニークである。これは彫刻家にとってそれだけコンクリートが身近な存在であった証左ともいえる。セメント（コンクリート）は単なる土木建築用材を脱したともいえようか。

日本工業倶楽部は日本の工業界を束ねる団体として1917（大正6）年に設立され、その活動拠点たる会館は3年後の1920（大正9）年に竣工した。地上5階、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）で、日本における数少ない本格的なセセッション様式だ。主たる設計は横河民輔と松井貴太郎。日本工業倶楽部会館は東京駅（丸の内口）に隣接するという絶好のロケーションである。

その竣工から75年を経た1995（平成7）年に発生した阪神淡路大震災を契機に実施された調査によって耐震性や機能低下などの問題が浮上、「保存と再生」をテーマに「建物の三分の一を保存し、残りは再現（古材活用）し、躯体を更新、免震を全面に施す」という補修工事の方針が定められ、日本工業倶楽部会館の工事は、背後の29階建ての三菱信託銀行ビルとともに、2000（平成12）年から2003（平成15）年にかけて実施された。

会館の工事に伴って《男女職工》も補修して竣工当時に近い形で仕上げるのが目指された。その修理報告書によれば、《男女職工》は「鳥かご状に取り囲み転倒しないように吊り

上げ」て屋上から一時的に取り除かれ、修復工事のために越中島の清水建設技術研究所に運び込まれた。調査の結果、彫像の制作方法と材料仕様がだまかに判明した。男女神像の構造は一体型ではなく、胴体・脚・頭・腕取り付け部分に大きな継ぎ跡が見られることから、現場でコンクリートを充填しながら体の各部を接合したのであることが推測された。心材として「鉄筋のようなもの」が用いられ、素材として「寒水石を砕石とした白セメントによる人造石（モルタル）」が考えられるという。表面細部は部分的に石膏で補強され、色彩は数層の塗膜層で構成されていた。最上層がライトグレーで最下層は茶系統であることから、竣工時の色彩は材質そのものの白色に何らかの塗装が施されていたらしく、仕上げは「現場塗人造石研出し」という。

また、男女神像の背中に約 30cm 角の開口部が設けられ、その内側に小さな砕石と粗いコンクリートが充填されていたとも伝わる（図 2）。のちに小倉は「セメントは、二十五年ほど前これへ鉄骨鉄網を入れた一丈二尺の像二体を私が作つたが、依然としてなほ健在である。現在工業倶楽部楼上にある像がそれだ。これも毎年ペンキを塗る手間はいる。しかしこれは費用も安く、割合作り易い点有利のやうだ」と述懐し（『朝日新聞』1943 年 3 月 21 日）、セメントは美術素材として使いやすいとの証言を残している。

日本のセメント美術は 1900 年代初頭（明治 30 年代半ば）に誕生したが、明治時代の作品は残っていない。大正時代の作品である《男女職工》は、補修工事を受けて新たな息吹を吹き込まれ、制作から 100 年以上を経た現在でも同じ場所で移り変わる東京の姿を見続けている。



図 1 《男女職工》の正面



図2 女神像の背中の開口部（画像提供：清水建設株式会社）